

令和 2 年 1 月 6 日
観 測 部
地球環境・海洋部

12 月の天候

2019 年（令和元年）12 月の日本の天候は、気温が東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高くなりました。東日本太平洋側と西日本の日照時間はかなり少なくなりました。日本海側の降雪量は記録的に少なくなりました。

2019 年（令和元年）12 月の天候の特徴は以下のとおりです。

○気温は東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高くなりました
本州付近への寒気の南下が弱かったため、月平均気温は東・西日本ではかなり高く、沖縄・奄美で高くなりました。

○東日本太平洋側と西日本の日照時間はかなり少なくなりました
冬型の気圧配置が続かず、本州の南を低気圧や前線が通過することが多かったため、月間日照時間は東西日本太平洋側と西日本でかなり少なくなりました。

○日本海側の降雪量は記録的に少なくなりました
冬型の気圧配置が続かなかったため、日本海側の月降雪量はかなり少なく、北・西日本日本海側の月降雪量は 1961 年の統計開始以降で最も少なくなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF 形式:487KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko1912_besshi.pdf

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 道城(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341 (内線 4156) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406